

足 監 査 第 36 号

令和元(2019)年 8 月 26 日

足利市葉鹿財産区管理者

足利市長 和 泉 聡 様

足利市監査委員 岡 本 篤 典

足利市監査委員 岡 部 記 和

足利市監査委員 荻 原 久 雄

平成 30(2018)年度足利市葉鹿財産区特別会計歳入歳出決算審査
意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された平成 30 年度足利市葉鹿
財産区特別会計歳入歳出決算を審査したので、その結果について、次のとおり意見
を提出します。

平成 30(2018)年度足利市葉鹿財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

平成 30 年度足利市葉鹿財産区特別会計歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和元年 8 月 1 日から令和元年 8 月 22 日

第3 審査の方法

審査にあたっては、管理者から審査に付された平成 30 年度足利市葉鹿財産区特別会計歳入歳出決算書及び附属書類と会計管理者及び担当部課が所管する諸帳簿等を照合し、計数の確認を行ったほか、事務事業及び予算の執行状況等について関係職員からの説明を聴取して行いました。

第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類は、いずれも関係法令にのっとり作成され、また、計数も関係諸帳簿、証ひょう書類と符合し、予算の執行もおおむね良好でありました。

なお、歳入歳出差引残高は、出納閉鎖日現在における指定金融機関等の預金現在高証明書と一致し、正確であることを確認しました。

審査の概要は、次のとおりです。

(注) ・ 本文及び表中の金額は、原則として百の位を四捨五入し、千円単位としました。このため、合計額と内訳の計が一致しない場合や決算書と一致しない場合があります。

また、前年度対比は、原則として、千円単位の数値で比較しました。

- ・ 比率(%)は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入しました。このため、内訳の合計が 100.0 とならない場合があります。
- ・ ポイントとは、百分率(%)を比較した場合の単純差引数値です。

1 財政運営の状況

本年度の財政運営の状況をみると、歳入は 5,223 千円で、前年度に比べて 43.5%増加し、歳出は 4,310 千円で、前年度に比べて 26.0%増加しています。

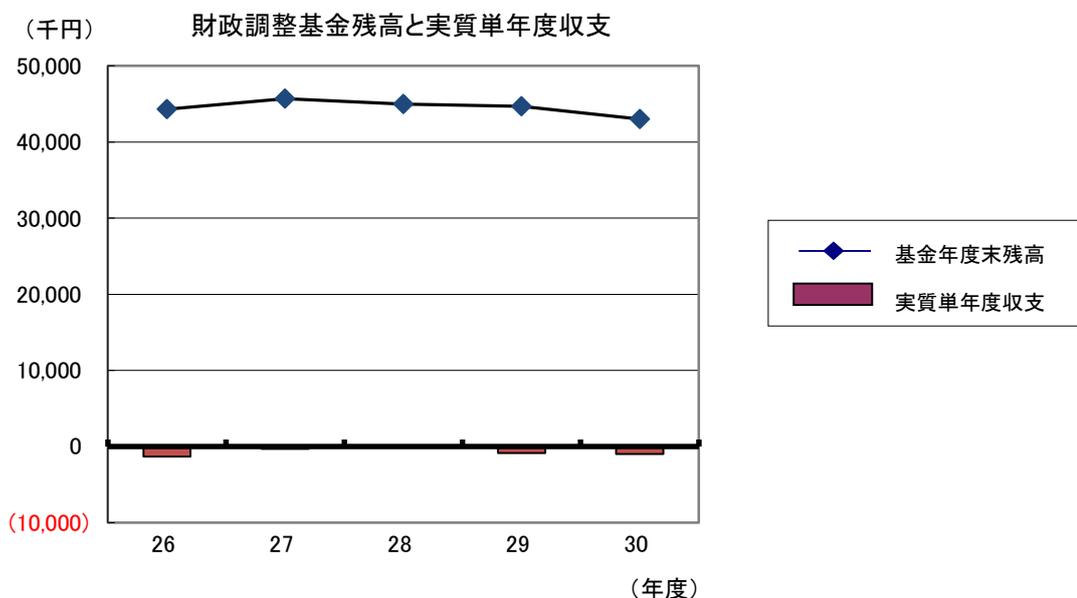
歳入の構成は、主に土地貸付料 2,279 千円(構成比 43.6%)、繰入金 1,719 千円(構成比 32.9%、うち財政調整基金繰入金 32.5%)となっており、また、歳出の

構成は、主に議員報酬 1,499 千円(構成比 34.8%)、事務費(一般管理費)1,449 千円(構成比 33.6%)となっています。

財政調整基金は、財産区議会議員選挙及び議員視察に対応するために、1,700 千円の取崩しを行った結果、残高が 43,000 千円となっています。

財政収支をみると、歳入歳出差引額 912 千円から前年度繰越金 218 千円を差し引いた単年度収支は 694 千円の黒字となり、さらに財政調整基金の取崩しによる繰入金 1,700 千円を差し引いた実質単年度収支は 1,006 千円の赤字となっています。

実質単年度収支は 5 年連続の赤字で、今後、主要な財源である土地貸付料の増加も見込まれないことから、財源確保の方策を検討する一方、歳出を抑制しつつ、将来の財政安定のために財政調整基金の回復に努めるよう要望します。

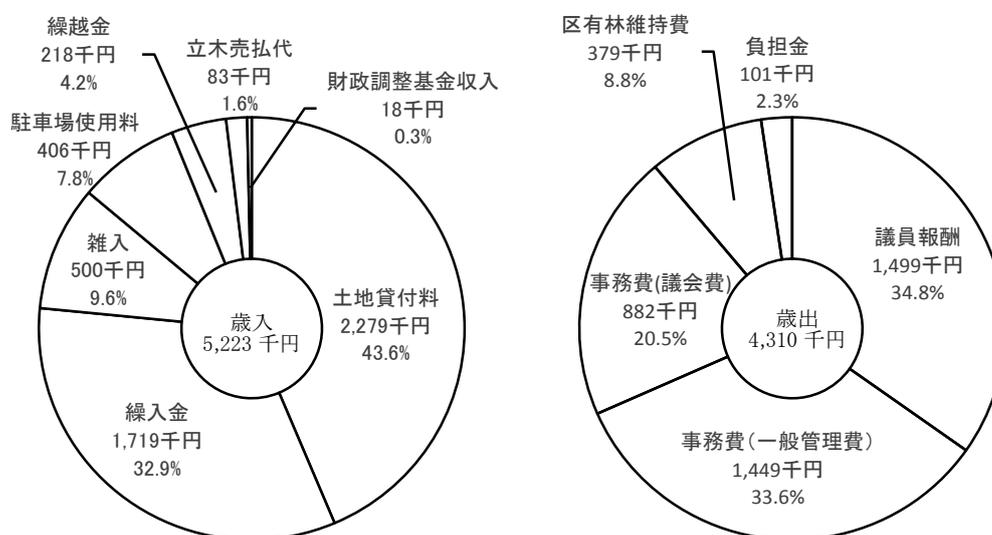


財産区は、地方自治法第 294 条により、その設置が規定され、所有する財産又は公の施設の管理及び処分を主たる目的とし、財産の適正な維持管理を行うことにより、住民の福祉の増進に寄与するとともに、地区と市との一体性を損なわないように努めることが求められています。

また、地球環境の保全が求められ、森林が果たしている様々な機能が注目されています。郷土の貴重な緑を護るとともに、水源涵養という観点から、将来の展望を踏まえ、これに係る財源の確保と森林の育成に配慮されるよう希望します。

2 歳入、歳出

本年度の歳入歳出決算の構成比率は、次のとおりです。



(1) 歳入

(単位 千円・%・ポイント)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	収入 未済額	収入率	
					対予算	対調定
30	7,000	5,503	5,223	280	74.6	94.9
29	3,800	3,793	3,639	154	95.8	95.9
比較増減	3,200	1,710	1,584	126	△ 21.2	△ 1.0
増減率	84.2	45.1	43.5	81.8	-	-

歳入決算額は5,223千円で、予算現額に比べて1,777千円(25.4%)の減、収入率が94.9%となり、前年度に比べて1,584千円(43.5%)増加しています。

これは、主に繰越金が575千円(72.5%)減少したものの、財政調整基金繰入金が1,400千円(466.7%)、雑入が429千円(604.2%)増加したことによるものです。

収入の主なものは、土地貸付料2,279千円(構成比43.6%)、財政調整基金繰入金1,700千円(構成比32.5%)、雑入500千円(9.6%)です。

調定に対する収入率は94.9%、収入未済額は280千円です。収入未済額は、昨年と比べ126千円(81.8%)増加しており、その内訳は、土地貸付料212千円、駐車場使用料68千円です。

収入の事務処理はおおむね適正に行われていますが、期限内の徴収に努めるとともに、催告の強化や連帯保証人への請求を行うなど、滞納の早期解消を図ってください。

(2) 歳 出

(単位 千円・%・ポイント)

年度 \ 区分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
30	7,000	4,310	2,690	61.6
29	3,800	3,421	379	90.0
比較増減	3,200	889	2,311	△ 28.4
増減率	84.2	26.0	609.8	-

歳出決算額は4,310千円で、執行率が61.6%となり、前年度に比べて889千円(26.0%)増加しています。

これは、主に事務費(一般管理費)が24千円(1.6%)減少したものの、事務費(議会費)が850千円(2,656.3%)、区有林維持費が63千円(19.9%)増加したことによるものです。

支出の主なものは、議員報酬1,499千円(構成比34.8%)、事務費(一般管理費)の負担金、補助及び交付金1,420千円(構成比32.9%)、事務費(議会費)の負担金、補助及び交付金454千円(構成比10.5%)、旅費179千円(4.2%)、使用料及び賃借料163千円(3.8%)となっています。財産区議会議員選挙及び財産区議会議員視察の実施年度であったため、事務費(議会費)が増加しています。

なお、不用額は2,690千円ですが、その主なものは、財産区議会議員選挙が無投票となったことに伴い支出不用となった事務費(議会費)の負担金、補助及び交付金2,138千円で、その他本年度の事務事業は、おおむね予定どおり執行されているものと認められました。

また、支出の事務処理も、おおむね適正に行われていました。

3 財産の管理

土地は、本年度中の増減がなく、年度末現在高が1,028,370㎡となっています。

立木の推定蓄積量については、本年度中に所有144㎡の成長により、年度末現在高は12,007㎡となっています。

財政調整基金は、本年度中に1,700千円を取り崩した結果、年度末現在高が43,000千円となっています。

財産の管理については、おおむね適正に行われていました。